



YOUNG
ENTREPRENEURS
GROUP

遊ゆう 悠ゆう 心しん

<http://www.matsuyama-yeg.com/>

No. **44**

2007竹下会長所信表明



将来の道州制が検討され、地域格差が広がる中、従来の国の施策や行政に頼るだけでなく、自らが地域の活性化やまちづくりについて真剣に考えていく必要があります。全国のYEGには設立以来、毎年提言書を提出し、成果を挙げた単会もあります。我々も親会・行政に対して提言書を提出できるようなYEGに成長していかなければなりません。

さて、19年度のスローガンは「新たな価値観の創造」です。人には、違った環境の中で見たり聞いたり体験した中から形成されているいろいろな価値観があります。個人的な趣味などは、好き嫌いで判断すれば良いのですが、企業やYEGなどの組織は公のものであり、好き嫌いや個人的な価値観だけで判断するものではないと思います。何が大切か、何が必要か、何をしなければいけないかという判断基準をしっかりと持たなければなりません。

～新たな価値観の創造～

ません。

企業経営では、以前からCS（顧客満足）運動が盛んになり、その後ES（従業員満足）運動が起こつてきました。これは、CSをするためにはESがなければ出来ないという視点にたつたからです。松山YEGの通年ビジョンには、「会員企業の発展と地域経済の活性化」が掲げられています。YEG活動に置き換えても、「会員の満足」と「地域の満足」がなければビジョン達成には到達できません。消費者から認められない企業は淘汰されます。置き換えれば、地域から認められない組織は淘汰されることになるでしょう。

ところで、現在松山市が推進している『坂の上の雲』のまちづくりはロープウェイ街の整備も終わり、記念館も完成し、NHKでのドラマ化も決定され、松山を全国に発信する準備が整いつつあります。このような時期に、今年の6月には愛媛県大会が松山で開催され、平成22年3月に開催される全国大会が、開催地松山で今年度に決定されようとしています。このような



大会を成功させるためには、松山YEGの結束はもとより、愛媛県YEG連合会や行政をはじめ地域の企業や団体との連携をしていかなければなりません。また、全国には400単会26,000名のYEGの素晴らしいメンバーがいます。今後、松山で開催される県大会・全国大会に向けて、より多くの人との交流を図り、いろいろな価値観を学び、我々にとって必要な価値観とはどういうものなのかを創造していきたいと思えます。

